



## 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月31日

上場会社名 株式会社 エフ・シー・シー

上場取引所 東

コード番号 7296 URL <http://www.fcc-net.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 住田 四郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役事業管理統括

(氏名) 木村 光雅

TEL 053-523-2400

四半期報告書提出予定日 平成23年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	88,416	28.7	10,316	245.7	10,061	209.2	6,855	676.9
22年3月期第3四半期	68,715	△30.9	2,983	△67.8	3,253	△66.2	882	△84.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	136.60	—
22年3月期第3四半期	17.20	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	96,914	76,166	72.2	1,394.60
22年3月期	94,634	73,792	71.6	1,350.16

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 69,993百万円 22年3月期 67,763百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00
23年3月期	—	16.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	113,000	16.6	11,700	110.2	11,500	89.3	7,800	246.6	155.41

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期3Q	52,644,030株	22年3月期	52,644,030株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	2,454,892株	22年3月期	2,454,695株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期3Q	50,189,241株	22年3月期3Q	51,302,101株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11
(2) 所在地別情報	12
(3) 海外売上高	12

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績は、景気回復に伴い主にアジア地域で二輪車需要が大幅に増加したことや、9月初旬まで実施された国内におけるエコカー補助金等の自動車購入支援策、北米における自動車需要の回復及び中国における自動車需要の増加等により、売上高は88,416百万円（前年同期比28.7%増）、営業利益は10,316百万円（前年同期比245.7%増）、経常利益は10,061百万円（前年同期比209.2%増）、税金等調整前四半期純利益は10,073百万円（前年同期比248.4%増）、四半期純利益は6,855百万円（前年同期比676.9%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 二輪車用クラッチ

景気回復に伴うアジア地域における二輪車需要の大幅な増加に加え、輸出用の大型二輪車用クラッチ販売が堅調に推移したことにより売上高は50,691百万円、営業利益は7,638百万円となりました。

#### ② 四輪車用クラッチ

9月初旬まで実施された国内におけるエコカー補助金等の自動車購入支援策及び北米における自動車需要の回復により主要顧客向け販売が増加したことに加え、フォード向け及び中国における主要顧客向け販売が大幅に増加したことにより売上高は37,724百万円、営業利益は2,677百万円となりました。

所在地別の状況は次のとおりであります。

#### ① 日本

四輪オートマチック車用クラッチ販売は、年度前半はエコカー補助金・減税の自動車購入支援策により、エコカー補助金が終了した9月初旬以降は、輸出用の中国向け販売の増加により順調に推移いたしました。また、輸出用の大型二輪車用クラッチ販売が堅調に推移したことにより売上高は24,577百万円（前年同期比28.6%増）、営業利益は2,450百万円（前年同期は777百万円の営業損失）となりました。

#### ② 北米

主要顧客向け四輪オートマチック車用クラッチ販売が堅調に推移したことに加え、フォード向けも大幅に増加したことにより売上高は17,104百万円（前年同期比20.6%増）、営業利益は1,358百万円（前年同期比122.6%増）となりました。

#### ③ アジア

景気回復に伴うインドネシア、タイ、インド等における二輪車用クラッチ販売の大幅な増加に加え、中国における四輪オートマチック車用クラッチ販売も順調に推移したことにより売上高は42,637百万円（前年同期比35.6%増）、営業利益は5,679百万円（前年同期比143.2%増）となりました。

#### ④ その他の地域

ブラジルにおける二輪車需要の回復により売上高は4,096百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益は550百万円（前年同期比73.2%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は96,914百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,280百万円増加いたしました。流動資産は49,994百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,447百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が4,434百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は46,920百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,166百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産の減少3,427百万円等によるものであります。

当第3四半期末の負債合計は20,748百万円となり、前連結会計年度末に比べ93百万円減少いたしました。流動負債は15,985百万円となり、前連結会計年度末に比べ94百万円増加いたしました。固定負債は4,762百万円となり、前連結会計年度末に比べ187百万円減少いたしました。

当第3四半期末の純資産は76,166百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,373百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券の時価評価によりその他有価証券評価差額金が121百万円、為替換算調整勘定が3,048百万円それぞれ減少したものの、利益剰余金が5,400百万円増加したこと等によるものであります。

#### [キャッシュ・フローの状況]

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は20,193百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,719百万円増加いたしました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は11,865百万円となりました。

主なプラス要因は、税金等調整前四半期純利益10,073百万円、減価償却費5,050百万円等であります。主なマイナス要因は、法人税等の支払額3,516百万円、たな卸資産の増加額873百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は4,776百万円となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得による支出3,072百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,490百万円となりました。

主な要因は配当金の支払額1,939百万円(内、少数株主への配当金の支払額509百万円を含む。)等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年10月27日に公表いたしました連結業績予想から修正を行っておりません。

## 2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し第2四半期連結会計期間末に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しましては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(会計処理基準に関する事項の変更)

① 「企業結合に関する会計基準」の適用

企業結合が当第3四半期連結会計期間に行われたことに伴い、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)を適用しております。

② 「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日)を適用しております。

なお、これによる経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

③ 「資産除去債務に関する会計基準」の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益がそれぞれ1百万円減少し、税金等調整前四半期純利益が23百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,423	15,988
受取手形及び売掛金	14,978	15,316
商品及び製品	1,849	1,725
仕掛品	2,304	2,212
原材料及び貯蔵品	6,977	6,798
その他	3,465	3,509
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	49,994	45,547
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,163	22,179
減価償却累計額	△10,809	△9,765
建物及び構築物（純額）	11,353	12,413
機械装置及び運搬具	59,298	60,836
減価償却累計額	△44,712	△42,879
機械装置及び運搬具（純額）	14,585	17,956
工具、器具及び備品	10,728	10,627
減価償却累計額	△9,379	△8,864
工具、器具及び備品（純額）	1,349	1,763
土地	7,488	7,169
建設仮勘定	1,458	359
有形固定資産合計	36,236	39,663
無形固定資産		
のれん	1,376	40
その他	481	555
無形固定資産合計	1,858	596
投資その他の資産		
投資有価証券	6,949	7,014
その他	1,929	1,865
貸倒引当金	△53	△53
投資その他の資産合計	8,825	8,826
固定資産合計	46,920	49,086
資産合計	96,914	94,634

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,656	7,498
ファクタリング債務	2,252	1,839
短期借入金	1,444	885
未払法人税等	501	1,745
賞与引当金	732	1,181
その他	3,396	2,740
流動負債合計	15,985	15,891
固定負債		
長期借入金	298	501
退職給付引当金	1,342	1,249
役員退職慰労引当金	22	11
その他	3,099	3,187
固定負債合計	4,762	4,950
負債合計	20,748	20,841
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,175	4,175
資本剰余金	4,566	4,566
利益剰余金	71,863	66,463
自己株式	△3,407	△3,406
株主資本合計	77,198	71,798
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,867	2,989
為替換算調整勘定	△10,072	△7,024
評価・換算差額等合計	△7,204	△4,035
少数株主持分	6,172	6,029
純資産合計	76,166	73,792
負債純資産合計	96,914	94,634

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	68,715	88,416
売上原価	58,945	70,687
売上総利益	9,770	17,729
販売費及び一般管理費		
荷造及び発送費	820	1,044
給料及び手当	1,801	1,850
賞与引当金繰入額	97	101
退職給付費用	174	171
役員退職慰労引当金繰入額	10	0
減価償却費	165	153
研究開発費	2,074	2,078
その他	1,642	2,011
販売費及び一般管理費合計	6,786	7,412
営業利益	2,983	10,316
営業外収益		
受取利息	102	118
受取配当金	53	76
持分法による投資利益	116	94
その他	217	194
営業外収益合計	490	484
営業外費用		
支払利息	41	29
為替差損	149	697
その他	30	12
営業外費用合計	220	739
経常利益	3,253	10,061
特別利益		
前期損益修正益	31	—
固定資産売却益	12	44
補助金収入	40	40
特別利益合計	84	84
特別損失		
固定資産除売却損	103	49
事業整理損失引当金繰入額	245	—
災害による損失	97	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	22
その他	0	0
特別損失合計	447	72
税金等調整前四半期純利益	2,891	10,073
法人税等	1,528	2,324
少数株主損益調整前四半期純利益	—	7,748
少数株主利益	479	893
四半期純利益	882	6,855

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,891	10,073
減価償却費	5,608	5,050
のれん償却額	54	40
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△531	△482
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	20	△34
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△454	0
事業整理損失引当金の増減額 (△は減少)	245	—
受取利息及び受取配当金	△155	△194
支払利息	41	29
為替差損益 (△は益)	△6	209
持分法による投資損益 (△は益)	△116	△94
前期損益修正損益 (△は益)	△31	—
固定資産除売却損益 (△は益)	90	5
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	0
災害損失	97	—
補助金収入	△40	△40
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	22
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,595	△283
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,170	△873
その他の資産の増減額 (△は増加)	△172	△291
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,032	779
ファクタリング債務の増減額 (△は減少)	7	309
その他の負債の増減額 (△は減少)	△758	603
未払消費税等の増減額 (△は減少)	403	136
小計	6,799	14,967
利息及び配当金の受取額	259	472
利息の支払額	△41	△57
災害損失の支払額	△59	—
その他	54	—
法人税等の支払額	△2,225	△3,516
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,788	11,865

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,657	△112
定期預金の払戻による収入	1,926	387
有形固定資産の取得による支出	△3,580	△3,072
有形固定資産の売却による収入	37	84
無形固定資産の取得による支出	△5	△21
投資有価証券の取得による支出	△21	△24
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	726	1
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△2,043
貸付けによる支出	△1,334	△870
貸付金の回収による収入	329	859
その他	40	34
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△3,538</b>	<b>△4,776</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	85	598
長期借入金の返済による支出	△96	△149
自己株式の取得による支出	△2,284	△0
配当金の支払額	△1,470	△1,429
少数株主への配当金の支払額	△1,488	△509
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△5,254</b>	<b>△1,490</b>
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>165</b>	<b>△878</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,838	4,719
現金及び現金同等物の期首残高	14,654	15,473
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,816	20,193

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

当社グループは、二輪車・四輪車及び汎用機用クラッチの製造販売を主な事業としております。セグメントの売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計に占める割合がいずれも90%超であるため、記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他の 地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	19,110	14,188	31,450	3,966	68,715	—	68,715
(2) セグメント間の内部売上高	8,402	531	753	88	9,776	(9,776)	—
計	27,513	14,719	32,203	4,055	78,492	(9,776)	68,715
営業利益又は営業損失(△)	△777	610	2,334	317	2,485	498	2,983

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 日本以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 北米……………米国

(2) アジア……………タイ、フィリピン、中国、インド、インドネシア、台湾、ベトナム

(3) その他の地域……………ブラジル、英国

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	15,741	31,498	4,504	51,745
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	68,715
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	22.9	45.8	6.6	75.3

(注) 1. 地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 北米……………米国

(2) アジア……………タイ、フィリピン、中国、インド、インドネシア、台湾、ベトナム

(3) その他の地域……………ブラジル、英国、イタリア

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、二輪車用クラッチ事業については主に二輪生産統括が、四輪車用クラッチ事業については主に四輪生産統括がそれぞれ国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業を展開しております。

したがって、当社グループは「二輪車用クラッチ」及び「四輪車用クラッチ」の2つを報告セグメントとしております。

「二輪車用クラッチ事業」は、オートバイ、スクーター及びA T Vのクラッチ等を生産しております。「四輪車用クラッチ事業」は、マニュアル車及びオートマチック車用のクラッチ等を生産しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

（単位：百万円）

	二輪車用クラッチ	四輪車用クラッチ	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	50,691	37,724	88,416	—	88,416
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	50,691	37,724	88,416	—	88,416
セグメント利益	7,638	2,677	10,316	—	10,316

(注) 1. 二輪車用クラッチセグメントにおける当第3四半期連結累計期間ののれんの償却額は40百万円であります。

2. 各セグメント利益の合計金額は、四半期連結損益計算書上の営業利益と一致しております。

3. 会計方針の変更

「資産除去債務に関する会計基準」の適用

2. その他の情報 (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要（会計処理基準に関する事項の変更） ③ に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより当第3四半期連結累計期間における二輪車用クラッチのセグメント利益が0百万円、四輪車用クラッチのセグメント利益が1百万円それぞれ減少しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

#### 4. 補足情報

##### (1) 生産、受注及び販売の状況

###### ① 生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
二輪車用クラッチ (百万円)	50,991
四輪車用クラッチ (百万円)	37,901
合計 (百万円)	88,892

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

###### ② 受注状況

当第3四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)
二輪車用クラッチ	51,244	5,869
四輪車用クラッチ	37,152	3,615
合計	88,397	9,484

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

###### ③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
二輪車用クラッチ (百万円)	50,691
四輪車用クラッチ (百万円)	37,724
合計 (百万円)	88,416

- (注) 1. 前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)
本田技研工業㈱	13,303	19.4	17,085	19.3

2. 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 所在地別情報

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他の 地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	24,577	17,104	42,637	4,096	88,416	—	88,416
(2) セグメント間の内部売上高	9,636	414	1,385	62	11,500	(11,500)	—
計	34,214	17,519	44,023	4,158	99,916	(11,500)	88,416
営業利益	2,450	1,358	5,679	550	10,040	276	10,316

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 日本以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

- (1) 北米……………米国
- (2) アジア……………タイ、フィリピン、中国、インド、インドネシア、台湾、ベトナム
- (3) その他の地域……………ブラジル、英国

(3) 海外売上高

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	18,834	42,991	5,214	67,040
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	88,416
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	21.3	48.6	5.9	75.8

(注) 1. 地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

- (1) 北米……………米国
- (2) アジア……………タイ、フィリピン、中国、インド、インドネシア、台湾、ベトナム
- (3) その他の地域……………ブラジル、英国、イタリア

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。